

1. 輸出における現状と課題

【現状】

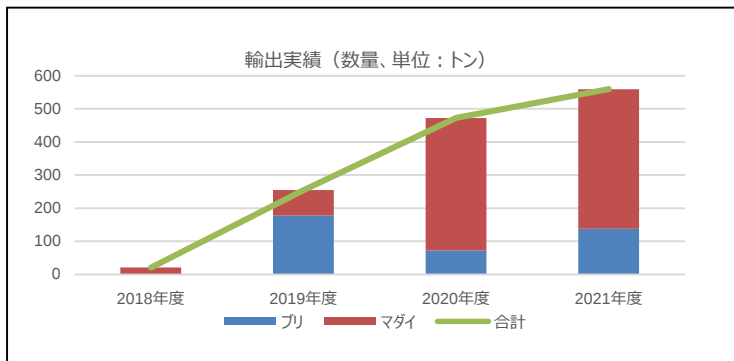
- 本県主力輸出商品であるブリ、マダイの生産量は全国的に近年減少傾向。
- 人口減少、少子高齢化、魚離れなどにより水産物の国内需要は減少傾向
- 愛媛県の輸出は増加傾向（R2はコロナでダウン）

（背景）輸送技術の進展、食品流通の国際化、都市人口の増加、スーパー等での購入増、新興国等での食生活の変化、健康志向の高まり等

（追い風）日本食ブーム、補助事業充実、国輸出戦略等
（実態）北米向けブリ伸長、韓国向け活魚伸長

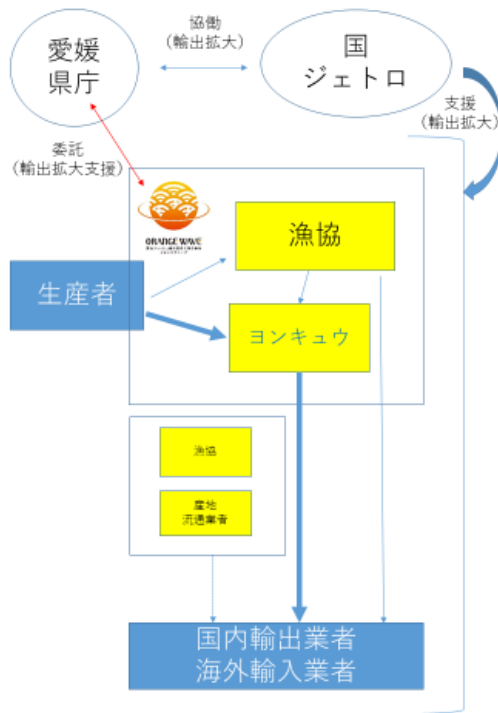
【課題】

- 輸出 へさらなる輸出拡大に向けて～
 - ・HACCP施設の維持拡大
 - ・輸出障壁（放射性物質検査等）の撤廃
 - ・体制整備（FSMA対応、Green list取得等）
 - ・アイテム確保（漁業認証、戦略魚種）
 - ・認知度向上（愛育フィッシュ、EHIME JAPAN）
 - ・ビハインド（価格等）
 - ・マーケットニーズの把握

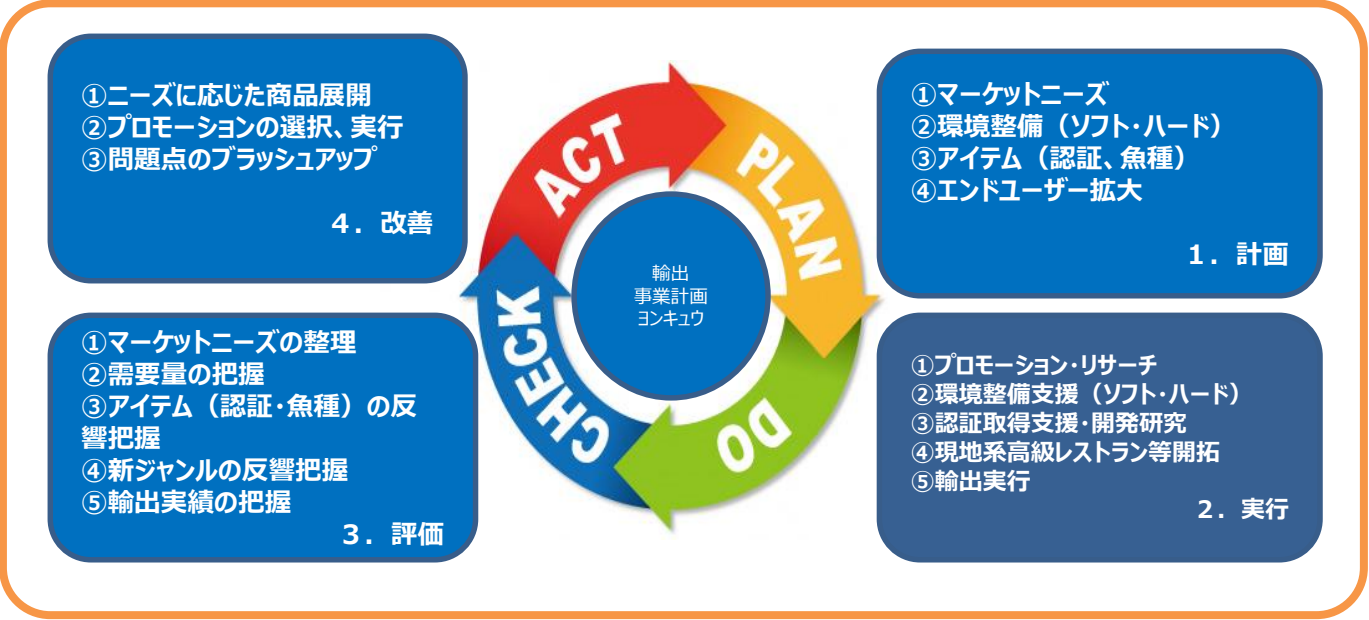


2. 輸出事業計画の取組内容

項目	対応策
HACCP輸出	・HACCP施設整備、改修 ・輸出拡大に必要な機器の整備等
輸出障壁	・輸出証明書の迅速な申請体制の整備
体制整備	・HACCPプラン実行、FSMA対応 ・グリーンリスト取得
漁業認証	・認証取得及び維持 ・現地ニーズの把握
戦略商品	・愛育フィッシュ（ブリ、マダイ）
認知度	・県プロモーション活動への参加 ・国（ジェトロ）と一体となったプロモーション活動への参加
ビハインド	・多量多品種の強みを生かした輸出 ・共同集荷輸送の検討
マーケットニーズの把握	・展示会等への参加 ・海外バイヤーやシェフ等の招聘等



3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標

愛媛県産ぶり	現状（令和2年度）	目標（令和7年度）	増減
輸出量	70 t	170 t	+100 t
輸出先国	米国等	米国等	-

愛媛県産まだい	現状（令和2年度）	目標（令和7年度）	増減
輸出量	400 t	450 t	+50 t
輸出先国	韓国等	韓国、米国等	米国等

愛媛県産その他	現状（令和2年度）	目標（令和7年度）	増減
輸出量	-	若干	若干
輸出先国	-	米国等	米国等